

社会福祉学科 社会福祉専攻 教育課程

社会福祉学科社会福祉専攻の教育

教育目的

福祉の専門的知識および技術、学芸を生かし、人や地域社会とあたたかい関わりをもち、人権を擁護することのできる人間性豊かなソーシャルワーカー（社会福祉士）や地域社会に貢献できる福祉人材の育成を図ることを目的とする。

学習教育目標

- A 知識・理解力
知識を体系的に理解するとともに、学んだ知識をつないでいくことができる。
- B 専門的技術
社会貢献・自己実現に技術が活用できる。
- C 論理的思考力
情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。
- D 問題解決力
問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる。
- E 自己管理能力
自らを律して行動できる。
- F チームワーク・リーダーシップ
他者と協調・協働して行動できる。また、他者に方向性を示し、目標の実現のために動員できる。
- G 倫理観
自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。
- H コミュニケーション力
言語や身体を用いて自己・他者の理解を深めるコミュニケーションができる。

学科・専攻学習教育目標

- A ①社会福祉学の基礎的な理解
社会福祉に関する基礎的な知識、技術について理解している。
- ②ソーシャルワークや隣接領域等の理解
ソーシャルワークの理解や心理、アート、健康、スポーツ等の知識を身につけている。
- B ①面接技術やカウンセリング等の能力
対人援助に必要な知識・技術について理解している。
- ②生活ニーズをアセスメントできる力
利用者の立場にたって物事を判断し、理解していく力を身につけている。
- ③総合的な支援を計画的に実践できる力
論理的な根拠をもって援助を計画的に実践していく力を身につけている。
- C ①行動を科学的に理解する力
人間の行動や心理について科学的、客観的に理解できる。
- D 問題解決力
問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる。
- E G ①自己覚知の実践
価値感や倫理観と向き合いながら自らを律し、利用者を理解していくことができる。
- F チームワーク・リーダーシップ
他者と協調・協働して行動できる。また、他者に方向性を示し、目標の実現のために動員できる。
- H ①言語、非言語によるコミュニケーション技術
利用者に合った方法でコミュニケーションを実践できる力を身につけている。
- ②プレゼンテーションを行う力
情報を的確に伝える力や解りやすく説明できる能力を身につけている。
- ③記録や記述を行う力
感じたことや考察したことなどを記録したり、記述することができる。

自己形成を進める行動目標10項目（社会福祉学科社会福祉専攻福祉短マトリックス）

- ① 「私」の経験をもとに考える
- ② 状況や関係を把握して考える
- ③ もう一人の「私」を立ち上げ考える
- ④ 「私」宣言をつくる
- ⑤ 自己・他者を理解しコミュニケーションする
- ⑥ 福祉に関わり知識・技術を習得する
- ⑦ 他者に向けて発信する
- ⑧ 「ひと・こと・もの」に働きかける「私」になる
- ⑨ 福祉に関わる専門性を発揮する
- ⑩ 福祉社会に生きる「私」になる

※「学習教育目標（A～H）」と「自己形成を進める行動目標（1～10）」を組み合わせることで各授業科目の到達目標を設定する。

履修科目一覧

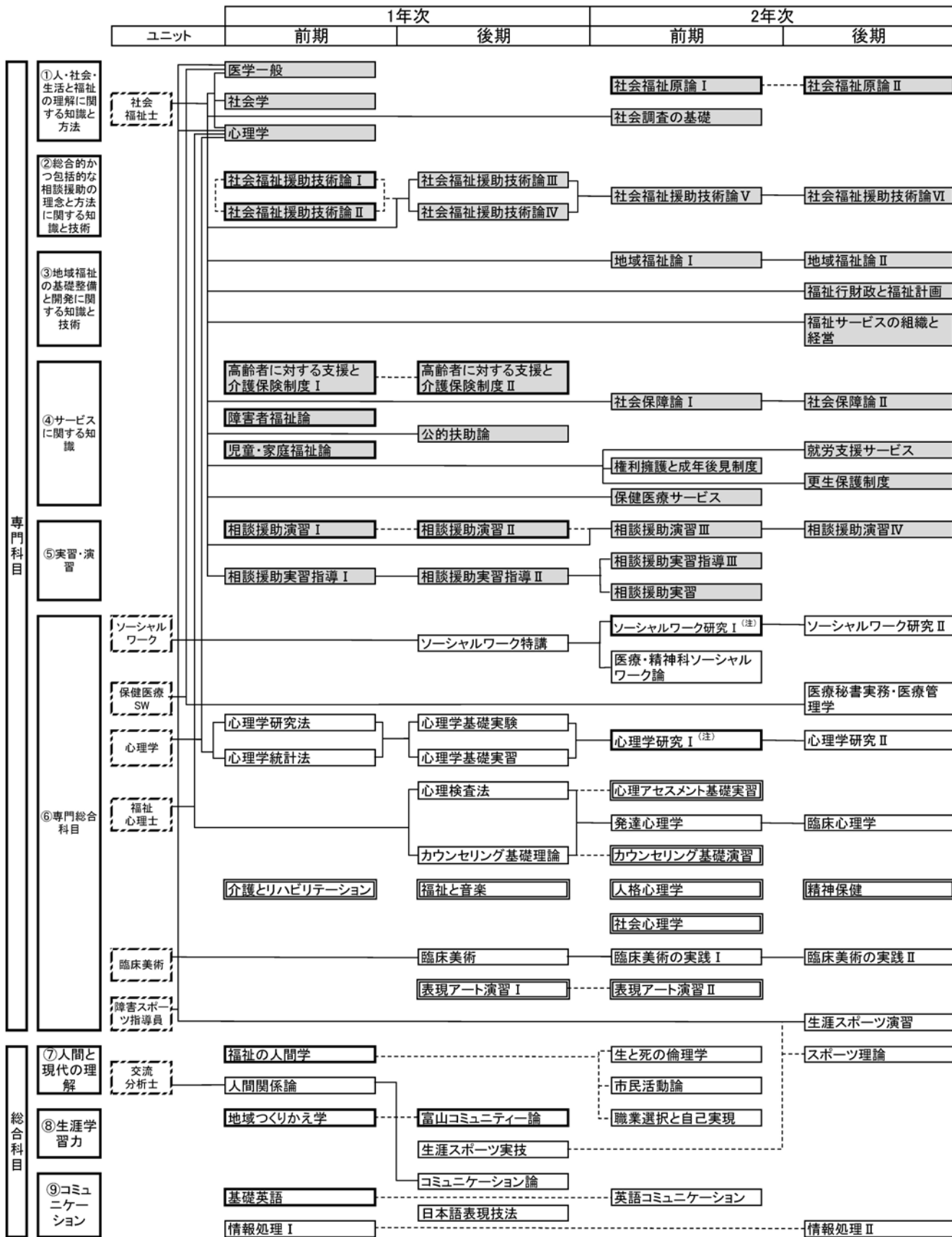
■社会福祉専攻 (2020年度 入学生)

区分	科目区分	1 年次					2 年次					卒業要件必要単位					
		前期		後期			前期		後期								
		コード	開講科目名	必修・選択	単位数	履修制限	コード	開講科目名	必修・選択	単位数	履修制限						
専攻科目	① 人・社会・生活と福祉の関わり ② 総合的かつ包括的な相談援助の理念と方法 ③ 地域福祉の基礎整備と開発と技術 ④ サービスに関する知識 ⑤ 実習	210210	医学一般	選	社、医、ス	2 講義	210421	社会福祉原論Ⅰ	必	2 講義	210422	社会福祉原論Ⅱ	必	2 講義			
		210208	社会学	選	社	2 講義	210438	社会調査の基礎	選	社	2 講義	210444	社会福祉援助技術論Ⅴ	選	社		
		210207	心理学	選	社、心、理、ス	2 講義	210433	社会福祉援助技術論Ⅳ	必	2 講義	210423	地域福祉論Ⅰ	選	社			
		210105	社会福祉援助技術論Ⅰ	必	社	2 講義	210430	社会福祉援助技術論Ⅲ	選	社	2 講義	210425	社会保険論Ⅰ	選	社		
		210106	社会福祉援助技術論Ⅱ	必	社	2 講義	210433	社会福祉援助技術論Ⅳ	選	社	2 講義	210429	保健医療サービス	選	社		
		210416	高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ	必	社	2 講義	210417	高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ	必	2 講義	210425	社会保険論Ⅰ	選	社			
		210450	障害者福祉	必	社	2 講義	210202	公的扶助	選	社	2 講義	210429	保健医療サービス	選	社		
		210418	児童・家族福祉	必	社	2 講義	210420	相談援助演習Ⅱ	必	2 演習	210427	権利擁護と成年後見制度	選	社			
		210431	相談援助演習Ⅰ	必	社	1 講義	210432	相談援助実習指導Ⅱ	選	社	1 講義	210436	相談援助演習Ⅲ	選	社		
		210431	相談援助演習Ⅰ	必	社	1 講義	210432	相談援助実習指導Ⅱ	選	社	1 講義	210439	相談援助演習Ⅳ	選	社		
		210510	介護とリハビリテーション	選	ソ	1 演習	210452	ソーシャルワーク特講	選	ソ	2 講義	210496	医療・精神科ソーシャルワーク論	選	ソ		
		専門総合科目	⑥	210470	心理学研究法	選	心	2 講義	210499	表現アート演習Ⅰ	選	美	2 演習	210512	ソーシャルワーク研究Ⅱ	選	ソ
				210471	心理学統計法	選	心	2 講義	210472	心理学基礎実習	選	心	2 演習	210500	表現アート演習Ⅱ	選	美
				210474	カウンセリング基礎理論	選	心	2 講義	210473	心理学基礎実習	選	心	2 演習	210475	カウンセリング基礎演習	選	心
				210476	心理検査法	選	心	2 講義	210474	カウンセリング基礎理論	選	心	2 講義	210477	心理アセスメント基礎実習	選	心
				210489	生と死の倫理学	選	2 講義	210513	心理学研究Ⅰ	選	心	2 講義	210479	人格心理学	選	心	
210515	市民活動論			選	2 講義	210511	ソーシャルワーク研究Ⅰ	選	ソ	2 講義	210480	社会心理学	選	心			
総合科目	⑦	210303	福祉の人間学	必	2 講義	210489	生と死の倫理学	選	2 講義	210489	生と死の倫理学	選	2 講義				
		210225	人間関係論	選	交	2 講義	210515	市民活動論	選	2 講義	210411	スポーツ理論	選	2 講義			
		210507	地域づくりかえ学	必	1 講義	210508	富山コミュニケーション論	必	1 演習	210484	職業選択と自己表現	選	1 演習				
		210495	基礎英語	必	1 演習	210485	日本語表現技法	選	1 演習	210488	英語コミュニケーション	選	1 演習				
総合科目	⑧	210405	情報処理Ⅰ	選	1 演習	210486	コミュニケーション論	選	交	1 演習	210219	情報処理Ⅱ	選	1 演習			
			総合科目計														
		51										51					
		必修 (5単位)										必修 (5単位)					
		選択 (6単位)										選択 (6単位)					
		11										11					
		62										62					

(注)

①社会福祉士受験資格指定科目について：○印の科目は必修。○印の3科目のうち1科目は選択必修。△印の3科目のうち1科目は選択必修。
 ②ユニット科目は次のように指示。「社会福祉士」=社、「ソーシャルワーク」=ソ、「保健医療SW」=医、「心理学」=心、「福祉心理士」=福、「臨床芸術」=美、「障害者スポーツ指導員」=ス、「交流分析士」=交
 ③学生は4年を超えて在学することはできない。ただし、休学の期間は在学年数に算入しない。〔学期〕第3条(修業年限及び在学年限)、第16条(休学の時期)

2020年度入学生 履修系統図 社会福祉学科社会福祉専攻



※上記の科目以外に、所定の手続きを経て、大学コンソーシアム富山等で開講する単位互換科目等を履修することができます。
 実線で結ばれた科目は同一ユニット、点線で結ばれた科目は内容的関連性の強い科目を示しています。^(注)ソーシャルワーク研究Ⅰ／心理学研究Ⅰは、選択必修卒業必修、アドバンスを示しています。 アドバンス は、社会福祉士養成課程指定科目を示しています。

教育課程の概要

社会福祉学科 介護福祉専攻 教育課程

社会福祉学科介護福祉専攻の教育

教育目的

その人らしい生活を支えるために必要な、専門的知識、心身の状況に応じた生活支援技術を身につけ、それらを必要とする人の尊厳と自立支援の意義を理解し、よりよい援助関係を築くための豊かな感性を伸長できる介護福祉士の育成を図ることを目的とする。

学習教育目標

- A 知識・理解力
知識を体系的に理解するとともに、学んだ知識をつないでいくことができる。
- B 専門的技術
社会貢献・自己実現に技術が活用できる。
- C 論理的思考力
情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。
- D 問題解決力
問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる。
- E 自己管理能力
自らを律して行動できる。
- F チームワーク・リーダーシップ
他者と協調・協働して行動できる。また、他者に方向性を示し、目標の実現のために動員できる。
- G 倫理観
自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。
- H コミュニケーション力
言語や身体を用いて自己・他者の理解を深めるコミュニケーションができる。

学科・専攻学習教育目標

- A ①基礎的な介護の知識
あらゆる介護場面に共通する基礎的な介護の知識を習得する。
- ②社会保障の制度、施策の知識・理解
介護に関する社会保障の制度、施策についての基本的知識を習得し理解する。
- ③介護の意義の理解
介護を必要とする人の潜在能力を引き出し、活用・発揮させることの意義について理解できる。
- B ①介護の基礎技術
あらゆる介護場面に共通する基礎的な技術を習得する。
- ②介護実践の根拠
介護実践の根拠が理解できる。
- ③介護の総合的、計画的実践力
利用者本位・自立支援に資するサービスを総合的、計画的に提供できる能力を身に付ける。
- C 論理的思考力
情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。
- D 問題解決力
問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる。
- E 自己管理能力
自らを律して行動できる。
- F ①役割の自覚と参画
他の職種の役割を理解しチームに参画する能力を身に付ける。
- G ①人権擁護の実践力
尊厳を支えるケア、人権擁護の視点に立った倫理を身につける。
- H ①コミュニケーションの基本
コミュニケーションのとり方の基本を身につける。
- ②共感の姿勢
他者に共感でき、相手の立場に立って考える事ができる姿勢を身につける。
- ③的確な記録・記述
的確な記録・記述の方法を身につける

自己形成を進める行動目標10項目（社会福祉学科介護福祉専攻福祉短マトリックス）

- ①「私」の経験をもとに考える
- ② 状況や関係を把握して考える
- ③ もう一人の「私」を立ち上げ考える
- ④ 「私」宣言をつくる
- ⑤ 自己・他者を理解しコミュニケーションする
- ⑥ 介護に関わり知識・技術を習得する
- ⑦ 他者に向けて発信する
- ⑧ 「ひと・こと・もの」に働きかける「私」になる
- ⑨ 介護に関わる専門性を発揮する
- ⑩ 福祉社会に生きる「私」になる

※「学習教育目標（A～H）」と「自己形成を進める行動目標（1～10）」を組み合わせることで各授業科目の到達目標を設定する。

履修科目一覧

社会福祉学科 介護福祉専攻 (2020年度 入学生)

区分	科目区分	1年次						2年次						卒業要件必要単位			
		前期			後期			前期			後期						
		コード	開講科目名	必修 選択	授業形態 単位数	社会福祉士受験科目 介護福祉士試験受験	コード	開講科目名	必修 選択	授業形態 単位数	社会福祉士受験科目 介護福祉士試験受験	コード	開講科目名		必修 選択	授業形態 単位数	社会福祉士受験科目 介護福祉士試験受験
専 門 科 目	① 人 と 社 会	220505	人間関係とコミュニケーション I	必*	1 演習	必*	220506	人間関係とコミュニケーション II	必*	2 講義	必*	220302	人権論	選	2 講義	△	
		220418	社会と制度の理解 I	必*	2 講義	必*	220460	福祉と産業	選	1 演習	△	220486	地域福祉論	必	2 講義	△	
		220420	介護の基本 I (◎)	必*	4 講義	必*	220438	介護の基本 III	必*	4 講義	必*	220439	介護の基本 IV	必	2 講義	★	
		220508	コミュニケーション技術 I	必*	1 演習	★	220509	コミュニケーション技術 II	必*	1 演習	★	220498	生活支援技術 IV	選	2 演習	★	
	② 介 護	220475	生活支援技術 I-①(◎)	必*	2 演習	★	220476	生活支援技術 I-②	必*	2 演習	★	220497	生活支援技術 III (◎)	選	2 演習	★	★
		220477	生活支援技術 II-①(◎)	必*	2 演習	★	220478	生活支援技術 II-②(◎)	必*	2 演習	★	220443	介護過程 III (◎)	選	2 演習	★	★
		220427	介護過程 I	必*	1 演習	★	220428	介護過程 II (◎)	必*	2 演習	★	220494	介護総合演習 III	選	1 演習	★	★
		220445	介護総合演習 I	選*	1 演習	★	220493	介護総合演習 II	選*	1 演習	★	220450	介護総合演習 IV	選	1 演習	★	★
		220429	発達と老化の理解 I	必*	2 講義	★	220430	発達と老化の理解 II	必*	2 講義	★	220432	認知症 II	選	2 講義	★	★
		220433	障害の理解 I	必*	2 講義	★	220431	認知症 I	必*	2 講義	★	220463	障害の理解 II	選	2 講義	★	★
③ こ こ ら か ら の く み	220437	こころからのだのしくみ III	必*	2 講義	★	220436	こころからのだのしくみ II	必*	2 講義	★	220435	こころからのだのしくみ I	選	2 講義	★	★	
					220464	こころからのだのしくみ IV	必*	2 講義	★	220491	嗜好吸引	選	1 演習	★	★	★	
					220490	医療的ケア基礎	選*	2 講義	★	220482	経営栄養	選	1 演習	★	★	★	
	220447	介護実習 I-①	選*	2 実習	★	220480	介護実習 II-①	選*	4 実習	★	220465	介護実習 I-②	選	1 実習	★	★	
④ 実 習										220466	介護実習 I-③	選	2 実習	★	★	★	
										220482	介護福祉研究	必	2 演習	★	★	★	
⑤ 介 護 研 究																	
⑥ 専 門 科 目 計																	
⑦ 人 間 と 現 代 の 理 解																	
⑧ 生 活 学 習 力																	
⑨ コ ミュ ニ ケー ション																	
⑩ 総 合 科 目 計																	
総 合 計																	

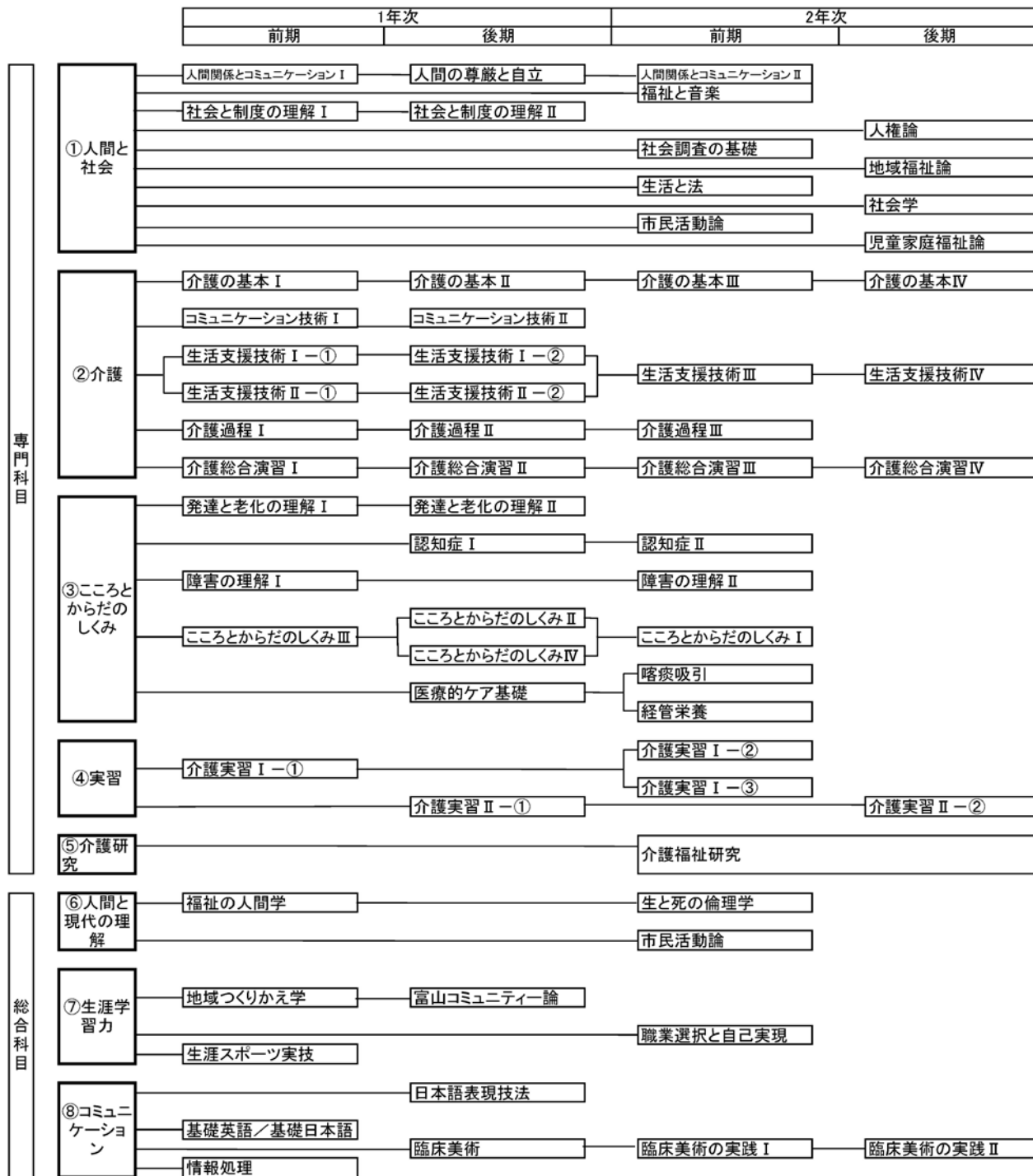
(注意) ①介護福祉士国家試験受験資格取得のためには、★印すべての科目と△印7単位以上の取得が必要です。

②科目名 (◎)印は、半期に30コマ(週2コマ)開講されます。

③卒業には、必修全科目(56単位)を含め、選択必修(「基礎英語」もしくは「基礎英語」もしくは「基礎日本語」のいずれか)より1単位、選択科目より5単位の単位認定が必要です。

④学生は4年を超えて在学することはできない。ただし、休学の期間は在学年数に算入しない。〔学期：第3条(修業年限及び在学年限)、第16条(休学の時期)〕

2020年度入学生 履修系統図 社会福祉学科介護福祉専攻



教育課程の概要

※上記の科目以外に、所定の手続きを経て、大学コンソーシアム富山等で開講する単位互換科目等を履修することができます。

看護学科 教育課程

看護学科の教育

教育目的

看護師として正確な専門知識と安全な技術を身につけ、本人と家族を含めた看護の対象やその対象を支える保健・医療・福祉従事者および地域の人々への理解を深め、信頼関係を形成し、安心感を与えることのできる態度と幅広い教養を身につけ、常に自己を向上させる意欲を備えた看護実践者の育成を図ることを目的とする。

学習教育目標

- A 知識・理解力
知識を体系的に理解するとともに、学んだ知識をつないでいくことができる。
- B 専門的技術
社会貢献・自己実現に技術が活用できる。
- C 論理的思考力
情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。
- D 問題解決力
問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる。
- E 自己管理能力
自らを律して行動できる。
- F チームワーク・リーダーシップ
他者と協調・協働して行動できる。また、他者に方向性を示し、目標の実現のために動員できる。
- G 倫理観
自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。
- H コミュニケーション力
言語や身体を用いて自己・他者の理解を深めるコミュニケーションができる。

学科・専攻学習教育目標

- A ①看護の本質・目的の理解
看護に活用される理論の基礎的知識を身につけ、未来で活躍する看護職としてのビジョンを持つ。
- ②看護の対象の理解
看護の対象であるあらゆる人々と家族の健康と生活についての理解を深める。
- ③看護の対象を支える保健・医療・福祉従事者および地域の人々への理解
対象を支える保健・医療・福祉従事者および地域の人々への理解を深める。
- ④看護の内容・方法の理解
看護実践に必要な内容・方法に関する知識・理解を深める。
- B 看護に必要な基本技術の習得
あらゆる場において看護を実践するための応用可能な基本的技術を習得する。
- C 看護実践のための論理的思考
さまざまな知識・技術を統合し活用するために論理的に考える姿勢を持つ。
- D 看護実践における問題解決
知識を活用し、看護過程の展開ができる。
- E 学習継続のための自己管理
学習継続のために心身の健康と行動を自らまたは適切な支援を得て管理できる。
- F チームワーク・リーダーシップ
学習目標達成のために、自己の役割を理解し、グループでの学習、実習を遂行できる。
- G 看護師としての倫理観
看護の対象である人々を護り、その人々の代弁者となる意識を持つ。
- H コミュニケーション力
交流分析等を活用し、コミュニケーションを円滑にすることができる。

自己形成を進める行動目標10項目（看護学科福短マトリックス）

- ① 「私」の経験をもとに考える
- ② 状況や関係を把握して考える
- ③ もう一人の「私」を立ち上げ考える
- ④ 「私」宣言をつくる
- ⑤ 自己・他者を理解しコミュニケーションする
- ⑥ 看護に関わり知識・技術を習得する
- ⑦ 他者に向けて発信する
- ⑧ 「ひと・こと・もの」に働きかける「私」になる
- ⑨ 看護に関わる専門性を発揮する
- ⑩ 地域社会に看護師として生きる「私」になる

※「学習教育目標（A～H）」と「自己形成を進める行動目標（1～10）」を組み合わせることで各授業科目の到達目標を設定する。

履修科目一覧

看護学科 (2020年度入学生)

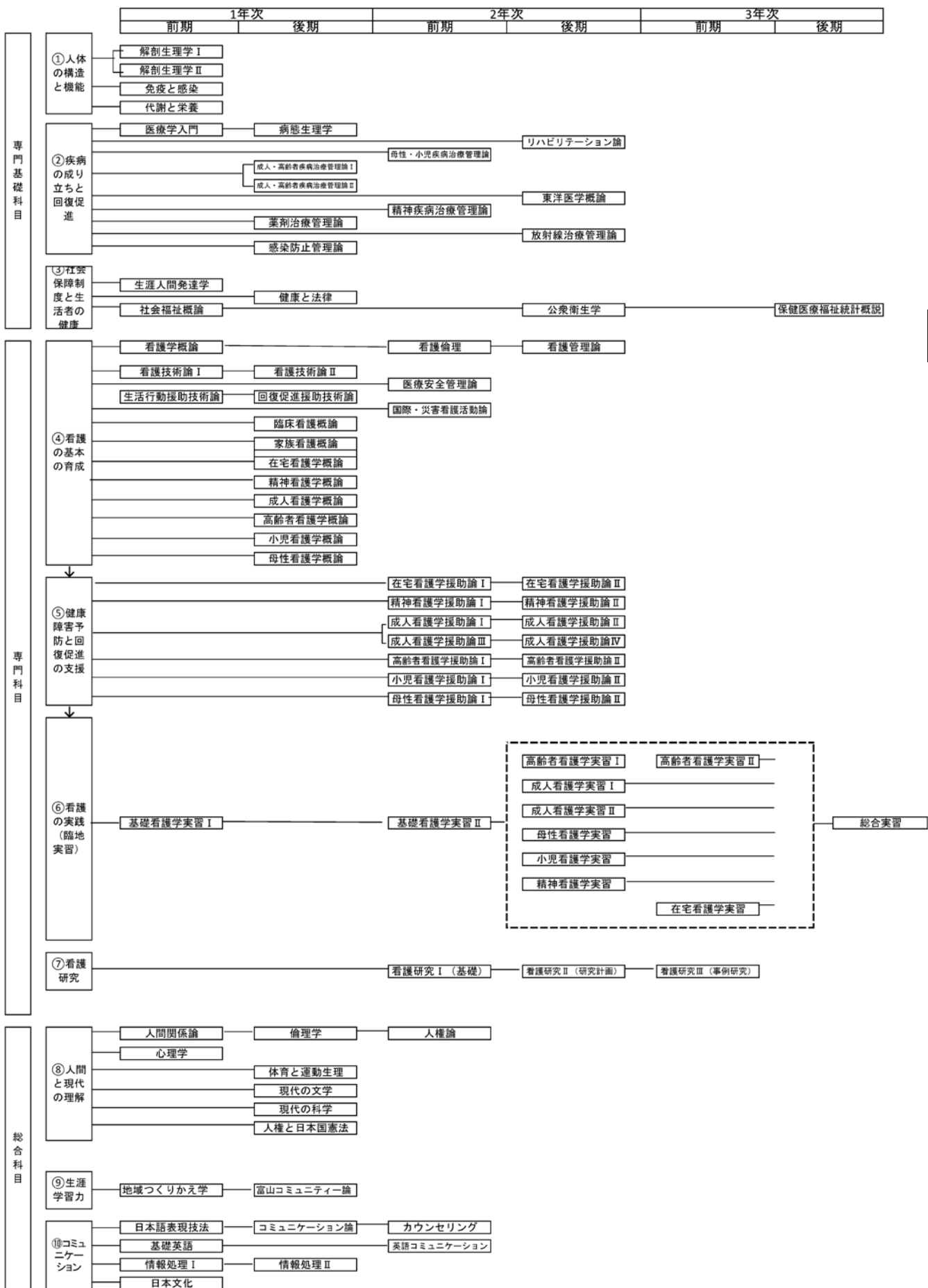
科目区分	1年次			2年次			3年次			卒業要件 単位数
	前期		後期	前期		後期	前期		後期	
	コード	授業 形態	単位数	コード	授業 形態	単位数	コード	授業 形態	単位数	
① 人体の構造と機能	270201	解剖生理学Ⅰ	2							
	270339	解剖生理学Ⅱ	1							
	270203	免疫と感染	1							
	270204	代謝と栄養	1							
	270205	薬学入門	1							
② 疾病の成り立ちと 回復の促進	270340	病態生理学	1	270209	母性・小児疾病治療管理論	1	270211	放射線治療管理論	1	
	270207	成人・高齢者疾病治療管理論Ⅰ	1	270210	精神疾病治療管理論	1	270214	*東洋医学概論	1	
	270208	成人・高齢者疾病治療管理論Ⅱ	2				270375	リハビリテーション論	1	
	270212	薬剤治療管理論	1							
	270213	感染防止管理論	1				270217	公衆衛生学	1	
③ 社会保険制度と 患者の健康	270216	生体人間発達学	1							
	270219	社会福祉概論	1							
	270301	看護技術Ⅱ	2	270302	看護倫理	1	270343	看護管理論	1	
	270341	看護技術Ⅰ	1	270344	医療安全管理論	1				
	270304	生活行動援助技術論	2	270376	国際・災害看護活動論	1				
④ 看護の基本										
⑤ 健康障害の予防と 回復を促進する 方法	270346	在宅看護学援助論Ⅰ	1	270347	在宅看護学援助論Ⅱ	2				
	270348	精神看護学援助論Ⅰ	1	270349	精神看護学援助論Ⅱ	1				
	270350	成人看護学援助論Ⅰ	1	270351	成人看護学援助論Ⅱ	1				
	270352	成人看護学援助論Ⅲ	1	270353	成人看護学援助論Ⅳ	1				
	270354	高齢者看護学援助論Ⅰ	1	270355	高齢者看護学援助論Ⅱ	1				
⑥ 看護の実践 (臨床実習)	270356	小児看護学援助論Ⅰ	1	270357	小児看護学援助論Ⅱ	1				
	270358	母性看護学援助論Ⅰ	1	270359	母性看護学援助論Ⅱ	1				
	270326	基礎看護学実習Ⅱ	2	270327	成人看護学実習Ⅰ	(通年)	270327	成人看護学実習Ⅰ	3	
				270328	成人看護学実習Ⅱ	(通年)	270328	成人看護学実習Ⅱ	3	
	270325	高齢者看護学実習Ⅰ	1	270329	高齢者看護学実習Ⅰ	(通年)	270330	高齢者看護学実習Ⅱ	2	
⑦ 看護研究										
⑧ 人間と現代の 関係	270101	人間関係論	2	270103	*倫理学	2	270102	人権論	2	
	270104	*心理学	2	270377	*体育と運動生理	2				
				270106	*現代の文学	2				
				270107	*現代の科学	2				
				270378	*人権と日本憲法	2				
⑨ 生涯学習力	270373	地域づくりかえ学	1	270374	富山コミュニケーション論	1				
	270111	英語英語	1	270109	*英語コミュニケーション論	1				
	270114	*日本文化	1	270115	*カウンセリング	1				
	270370	*日本語教育技法	1							
	270117	情報処理Ⅰ	1							
総合科目										
合計(94科目)			9			4				13

注意事項

*選択科目
通年にかわって履修する科目

①進級は、各年次に開講される履修科目および専門基礎科目がすべて修得されていることと条件とする。(履修要項:第10条(成績)第6項)
②学生は6年を超えて在学することはできない。ただし、休学の期間は在学数に算入しない。(学則:第3条(修業年限及び在学年限)、第16条(休学の期間))
③3年次「保健医療福祉概論」の評価を以って、卒業を判定する。

2020年度入学生 履修系統図 看護学科



※上記の科目以外に、所定の手続きを経て、大学コンソーシアム富山等で開講する単位互換科目等を履修することができる。

幼児教育学科 教育課程

幼児教育学科の教育

教育目的

子どもの保育・教育に関する専門知識、技術を修得し、音楽や図工、体育などを通して、子どもの感性を育む表現力を身につけ、さらに保護者や同じ職場の仲間から信頼される幅広い教養と使命感をもって、子どもたちの幸せをサポートできる人間愛に満ちた保育者、教育者の育成を図ることを目的とする。

学習教育目標

- A 知識・理解力
知識を体系的に理解するとともに、学んだ知識をつないでいくことができる。
- B 専門的技術
社会貢献・自己実現に技術が活用できる。
- C 論理的思考力
情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。
- D 問題解決力
問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる。
- E 自己管理能力
自らを律して行動できる。
- F チームワーク・リーダーシップ
他者と協調・協働して行動できる。また、他者に方向性を示し、目標の実現のために動員できる。
- G 倫理観
自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。
- H コミュニケーション力
言語や身体を用いて自己・他者の理解を深めるコミュニケーションができる。

学科・専攻学習教育目標

- A ①保育・教育の本質・目的の理解
福祉や保育・教育の基礎的な知識を身につけるとともに、保育者として必要な役割について理解できる。
- ②保育・教育の対象の理解
子どもの心身の発達および健康管理についての知識を身につける。
- ③保育・教育の内容・方法の理解
乳児や障がい児も含め、様々な対象の子どもに対する保育・教育の内容・方法や計画に関する知識を身につける。
- B 保育・教育に必要な基礎技術
音楽、造形、体育などの活動を通して子どもの感性を育むことができるよう、それらの基本的な技術を身につける。
- C 記録の技術と子どもの理解
授業のレポートや実習報告書などを作成し、子どもの育ちの理解を深め、表現できる。
- D 指導計画を立案する力
子どもの生活に即した保育・教育の計画を立案・実施し、自己評価することができる。
- E 自己管理能力
自らを律して行動できる。
- F 保育者のチームワーク
他者と信頼関係を築き、目標実現のため協力し共に育ちあうことができる。
- G 保育者の倫理観
保育者の社会的責任を理解し、子どもの最善の利益に配慮できる。
- H 保育者として必要なコミュニケーション力
子どもと信頼関係を築くことができる。また、保護者とコミュニケーションをとることにより家庭や地域社会を理解できる。

自己形成を進める行動目標10項目（幼児教育学科専攻福短マトリックス）

- ① 「私」の経験をもとに考える
- ② 状況や関係を把握して考える
- ③ もう一人の「私」を立ち上げ考える
- ④ 「私」宣言をつくる
- ⑤ 自己・他者を理解しコミュニケーションする
- ⑥ 保育・教育に関わり知識・技術を習得する
- ⑦ 他者に向けて発信する
- ⑧ 「ひと・こと・もの」に働きかける「私」になる
- ⑨ 保育・教育に関わる専門性を発揮する
- ⑩ 子どもの幸せをサポートする「私」になる

※「学習教育目標（A～H）」と「自己形成を進める行動目標（1～10）」を組み合わせることで各授業科目の到達目標を設定する。

履修科目一覧

■幼児教育学科(2020年度 入学生)

区分	1年次										2年次										卒業要件 単位数 単位
	前期					後期					前期					後期					
	コード	開講科目名	必修 選択 必履修	保育士 資格 取得	単位 数	コード	開講科目名	必修 選択 必履修	保育士 資格 取得	単位 数	コード	開講科目名	必修 選択 必履修	保育士 資格 取得	単位 数	コード	開講科目名	必修 選択 必履修	保育士 資格 取得	単位 数	
① 教育の 本質・目的 の理解	240158	保育原理	◎	●	2	240151	社会福祉	◎	●	2	240218	社会的実践 I	◎	●	2	240110	教師論	◎	●	2	
	240109	教育原理	◎	●	2	240217	子育て支援	◎	●	2											
	240216	子どもの家庭福祉	◎	●	2																
	240219	保育の心理学	◎	●	2	240220	子どもの理解と援助	◎	●	2	240112	教育心理学	◎	●	2						
② 教育の 対象の理解	240222	子どもの健康	◎	●	2	240221	子ども家庭支援の心理学	◎	●	2	240195	子どもの食と栄養 I	◎	●	1	240196	子どもの食と栄養 II	◎	●	1	
	240225	幼児理解	◎	●	1	240223	子どもの健康と安全	◎	●	1	240224	子ども家庭支援論	◎	●	2						
						240118	保育相談	◎	●	2											
						240226	保育内容(健康)	◎	●	1	240229	保育内容(造形表現)の指導法	◎	●	1	240227	保育内容(健康)の指導法	◎	●	1	
③ 教育の 方法の理解	240125	保育内容(言葉)	◎	●	1	240120	保育内容総論	◎	●	1	240231	保育内容(言語表現)の指導法	◎	●	1	240123	保育内容(人間関係)	◎	●	1	
	240228	保育内容(身体表現)の指導法	◎	●	1	240230	保育内容(音楽表現)の指導法	◎	●	1	240231	保育内容(言語表現)の指導法	◎	●	1	240124	保育内容(環境)	◎	●	1	
	240242	乳児保育 I	◎	●	2	240198	乳児保育 II	◎	●	1	240233	特別の支援を必要とする子どもの理解 I	◎	●	1	240234	社会的実践 II	◎	●	1	
						240232	特別の支援を必要とする子どもの理解 I	◎	●	1	240133	教育と社会	◎	●	1						
④ 教育の 実践	240235	幼児と音楽表現 I	◎	●	1	240236	幼児と音楽表現 II	◎	●	1	240237	保育内容(総合表現) I	◎	●	1	240238	保育内容(総合表現) II	◎	●	1	
	240239	幼児と造形表現 I	◎	●	1	240240	幼児と造形表現 II	◎	●	1	240241	幼児体育	◎	●	1	240207	臨床実習の実践 II	◎	●	1	
	240179	臨床実習	◎	●	2																
	240143	国語表現	◎	●	2																
⑤ 実 習	240180	保育表現技術(言語表現)	◎	●	1																
	240211	保育実習指導 I-①	◎	●	1	240212	保育実習指導 I-②	◎	●	1	240213	保育実習指導 I-③	◎	●	1	240182	保育実習指導 II	◎	●	1	
						240145	保育実習 I-①	◎	●	2	240146	保育実習指導 I-②	◎	●	2	240183	保育実習指導 III	◎	●	2	
						240214	保育実習指導 I	◎	●	1	240183	保育実習指導 III	◎	●	1	240147	保育実習 II	◎	●	2	
⑥ 総合演習					240150	保育実習 I	◎	●	2												
⑦ 専門科目計																					
⑧ 人間と現代の理解																					
⑨ 生涯学習力																					
⑩ コミュニケーション																					
⑪ 総合科目計																					
合計																					8
必修																					60
選択																					29
必履修																					6

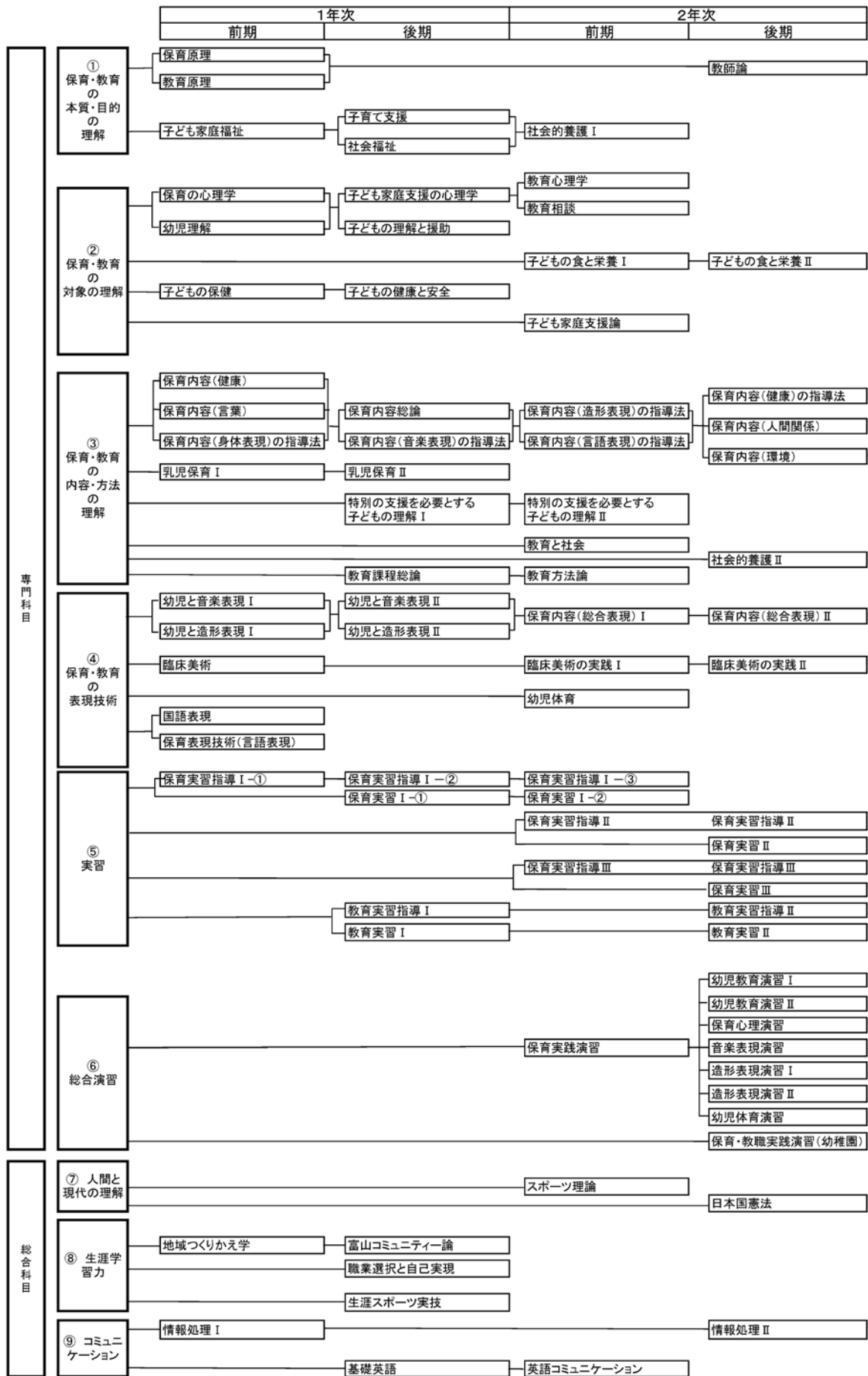
(注意) ①卒業には、上記⑥印の全科目28単位(専門22単位+総合6単位)を含め、●より6単位以上、★より3単位以上を加えて、計68単位以上の単位設定が必要です。

②保育士の資格を取得するためには、◎印の全科目(58単位)に加えて、○印の科目から9単位以上、△印の科目から3単位以上の単位設定が必要です。

③幼稚園教諭2種免許の取得には、「幼稚園教諭1種」の◎印科目すべてでの単位設定が必要です。

④学生は4年を超えて在学することはできない。ただし、休学の期間は在学年数に算入しない。(学則:第3条(修業年限及び在学年限)、第16条(休学の時期))

2020年度入学生 履修系統図 幼児教育学科



教育課程の概要

※上記の科目以外に、所定の手続きを経て、大学コンソーシアム富山等で開講する単位互換科目等を履修することができます。

国際観光学科 教育課程

国際観光学科の教育

教育目的

福祉の精神を基盤として、人権を尊重する高い倫理観を有し、人々の幸せのために、観光実務や観光サービスの分野で人を支援するための知識と基本的技術、語学力を活用し、地域の人々や関連職種と連携してインバウンドに対応し、地域創生に寄与できる人材を育成することを目的とする。

学習教育目標

- A 知識・理解力
知識を体系的に理解するとともに、学んだ知識をつないでいくことができる。
- B 専門的技術
社会貢献・自己実現に技術が活用できる。
- C 論理的思考力
情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。
- D 問題解決力
問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる。
- E 自己管理能力
自らを律して行動できる。
- F チームワーク・リーダーシップ
他者と協調・協働して行動できる。また、他者に方向性を示し、目標の実現のために動員できる。
- G 倫理観
自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。
- H コミュニケーション力
言語や身体を用いて自己・他者の理解を深めるコミュニケーションができる。

学科・専攻学習教育目標

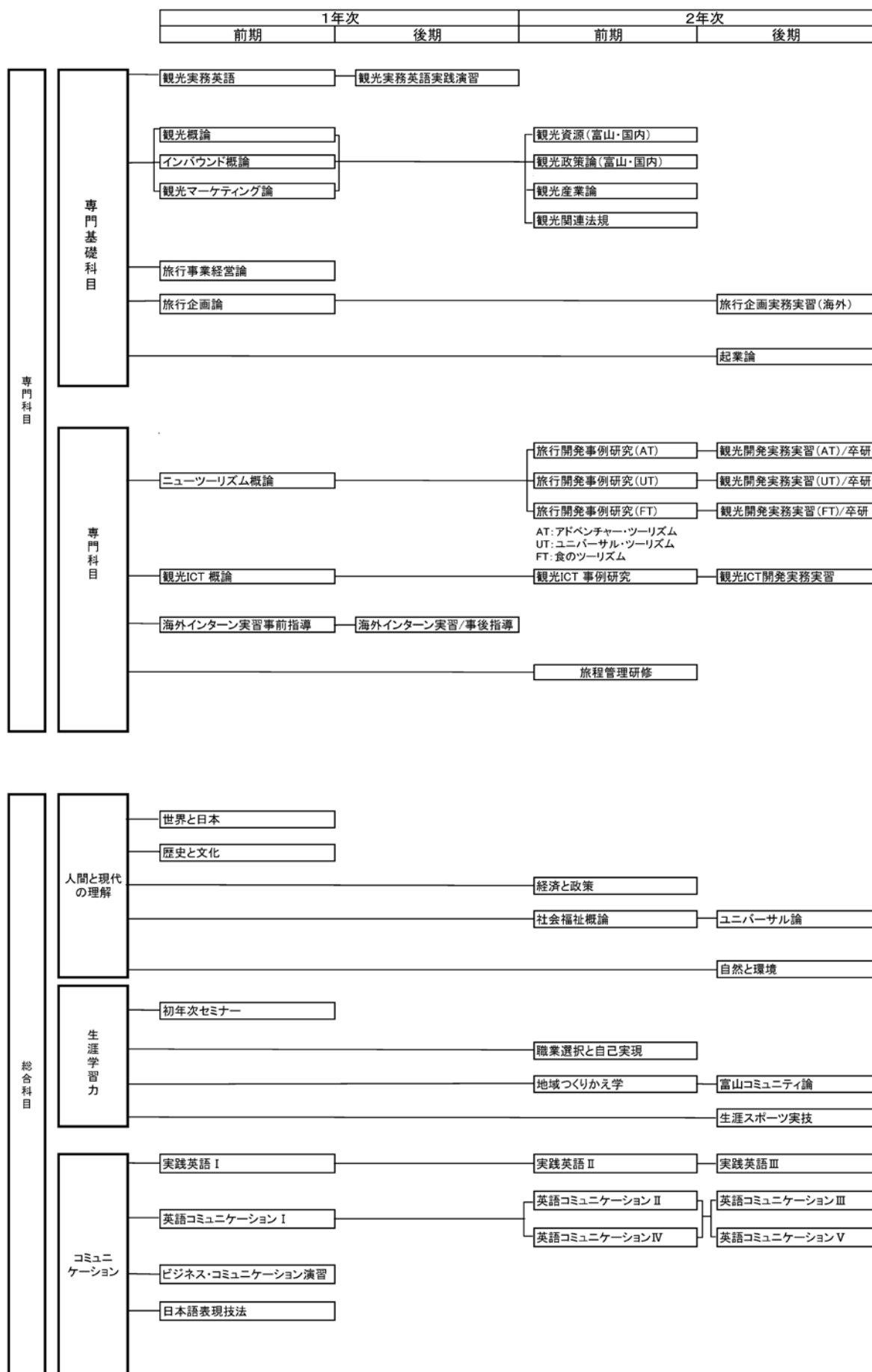
- A ①国際観光の基礎的な理解
国際観光に関する基礎的な知識、技術について理解している。
- ②歴史や文化の理解
国内外の歴史や文化を理解し、観光実務や観光サービスの分野で活用できる。
- B 国際観光の専門職としての実践力
インバウンド顧客の感動実現のため、地域に貢献できる体験型観光商品や滞在型観光サービスの企画、開発を行う。
- C 論理的能力
高いマーケティング力、イノベーション力を用いた事業性、継続性の高い実践ができる。
- D 問題の分析や提言
地域のニーズに合わせて問題の分析や、提言、解決を図る。
- E 地域の課題を自ら発見
広い視野で地域創生の課題を自ら発見し、自身の考えで解決に向けてやり遂げる。
- F 関連職種との連携
専門職としての高い知識を活用、提言をしながら、効果的な関連職種と連携し、主体的に問題解決をする。
- G 高い倫理観
人権を尊重し、公正平等な高い倫理観を持つ。
- H ①地域社会と関わる
地域創生のための問題解決に向けて、地域社会と温かい関わりをもつ。
- ②高度な英語力
様々な実践現場においてより高度な英語を用いたコミュニケーションを図る。

自己形成を進める行動目標10項目（幼児教育学科専攻福短マトリックス）

- ① 「私」の経験をもとに考える
- ② 状況や関係を把握して考える
- ③ もう一人の「私」を立ち上げ考える
- ④ 「私」宣言をつくる
- ⑤ 自己・他者を理解しコミュニケーションする
- ⑥ 観光に関わり知識・技術を習得する
- ⑦ 他者に向けて発信する
- ⑧ 「ひと・こと・もの」に働きかける「私」になる
- ⑨ 観光に関わる専門性を発揮する
- ⑩ 観光で地域社会に資する「私」になる

※「学習教育目標（A～H）」と「自己形成を進める行動目標（1～10）」を組み合わせて各授業科目の到達目標を設定する。

2020年度入学生 履修系統図 国際観光学科



※上記の科目以外に、所定の手続きを経て、大学コンソーシアム富山等で開講する単位互換科目等を履修することができます。